



学校だより

たるみ

令和7年 10月21日号

柳川市立垂見小学校

柳川市三橋町垂見1610番地

☎ 0944-72-2837 Fax 0944-72-4632

文責 校長 石橋 由美

10月10日(金)前期終業式・10月14日(火)始業式を行いました。

10月10日(金)は、前期終業式を行いました。4月に新入生として入学した1年生もすっかり学校生活に慣れ、無事この日を迎えることができました。また、他の学年も運動会という大きな行事を経て、一人一人の成長が見られました。この日に持ち帰る「あゆみ」には、子どもたちが全力で取り組んだ成果が表れ、担任の所見欄には一人一人の頑張った様子が書かれていました。終業式では、2・4・6年生の代表が、前期で頑張ったことを大きな声で発表しました。発表では、自分で考えを作るためにしっかりノートに書いたこと、友だちに説明したこと、上学年として全体を見て、行動できしたことなどを自分の学級のめあてと繋げて、発表することができました。私は、『終業式を無事に迎えられたことは、一人一人の頑張った姿だけでなく、地域やお家の方などたくさんの人々の支えがあったことを伝え、「あゆみ」を渡すときには、「ありがとう」の気持ちを伝えてください。』と話しましたが、子どもたちの気持ちは伝わったでしょうか。

10月14日(火)、新たなめあてをもって、子どもたちが登校し、後期の始業式を行いました。今度は、1・5年生(3年生は、後で放送で発表しました。)が、後期のめあてを発表しました。全校児童の前で、緊張しながらも自分の言葉で最後まで伝えようとしていた姿が素晴らしかったです。学習のこと、宿泊体験学習のこと、前期をふり返って、自分の姿を見つめて、めあてが決められていきました。私からは、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざを紹介し、「わからない。」や「ここまで考えてみたけど、この後どうするといいかな。」と友達や先生に聞いたり、教え合ったりして、後期の学習を頑張ってほしいことを伝えました。

5年生が宿泊体験学習を行いました。

10月15日・16日で夜須高原青少年自然の家で、5年生が、「チャレンジ～人と自然との関わりを深めよう～」をめあてに宿泊体験学習を行いました。

1日目は、昼食のカレーライスを野外炊飯で作りました。友だちと役割を分担し、協力して、いろいろなカレー(スープカレー!?)ができたと聞いています。でも、友だちと自然の中で食べるカレーの味は、格別なおいしさがあったのではないかでしょうか。片付けも手際よく、協力してできることで、施設の方に褒めていただきました。その後、夕食後のナイトハイクの感想は「とても怖かった。」ということでした。でも、見上げた星空は、大自然の中でしか味わえない景色だったそうです。

2日目は、靄のかかった中での朝の集いでした。朝の集いでは、集いの司会や国旗掲揚の係を代表で行いました。この日は、雷注意報が出ていたので、屋外のフィールドビンゴを変更して、館内ビンゴと屋内スポーツでキンボールを行いました。館内ビンゴは想像以上に難しく、ポイントを見つけるために班で協力したり、話し合ったりする姿が見られました。体験内容を終え、学校へ到着したときには、子どもたちは、帰宅した安心感と疲れからか、ぐったりしていましたが、その分、体験学習を力一杯頑張ったことが感じられました。引率した先生方からは、自分の係の仕事を責任をもって果たす姿が見られたことや仕事が終わったときは、友だちのことを手伝う姿があったこと、仲良く声をかけながら、班活動ができていたことなど、5年生がこの2日間で成長した様子を聴くことができました。とてもうれしい土産話です。

